

第2弾

ごみの減量から生まれるメリット



# ごみ減量プラン 発動



ごみの減量には多くのメリットがあり、循環型社会の形成や脱炭素社会の貢献につながります。

シリーズの第2弾として、ごみを減量することで生まれるメリットと、清掃工場の現状をお知らせします。

環境施設課(☎228-7453 FAX228-3971)

環境事業管理課(☎228-7478 FAX229-4454)

ごみは生活するうえで出てくるものですが、さまざまな問題の原因の一つとなっています。問題解決には、一人ひとりが消費・廃棄のライフスタイルを見つめなおし、更なるごみの減量に取り組むことが大切です。



環境施設課職員



## ごみが減ると、どんないいことがあるの？

### 異常気象を引き起こす 地球温暖化を防ぎます

ごみを燃やすと温室効果ガスの一つである二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が発生し、地球温暖化につながります。この環境の変化が、近年増加している台風や大雨など、異常気象の起因の一つとなっています。



#### 温暖化により高まるリスク

- ・海面上昇による高潮被害
- ・気温上昇による熱中症や害虫被害
- ・豪雨による洪水・土砂災害
- ・干ばつによる食糧不足

### 限りある天然資源を 将来世代に残すことができます

限られた資源は、大量に消費・廃棄する生活を続けられれば枯渇してしまいます。ごみを減量・リサイクルするライフスタイルに転換し、限りある資源を将来に残しましょう。



### 清掃工場の負担軽減と、埋立処分場を長く使うことができます

～ごみ処理の抱える課題～

#### ・清掃工場の負担が大きい状況が続いています

現在、堺市のごみは東工場【写真】と臨海工場で処理しています。これらの稼働率は他市に比べて高く、市内のごみの量は近年横ばい傾向にあり、施設・設備への負担が大きい状況が続いています。

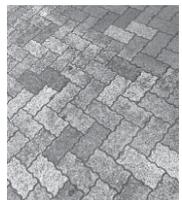


#### ・11年後には埋立処分場がいっぱいに

ごみの焼却灰は大阪湾沖の埋立処分場に埋め立てていますが、このままごみが排出され続けると、令和14年度末にはいっぱいになります。少しでも長く使うために、更なるごみの減量が必要です。

### 清掃工場ではごみを有効活用

ごみを再資源化し、まちなかで活用  
臨海工場では、ごみを1,700度以上の高温で溶融することで、道路舗装用材【写真】などの原料となるスラグや、建設用重機の重りなどに使えるメタルに再生しています。



#### ごみを燃やしたエネルギーを活用

ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを、電力や蒸気に変換して工場内で使用するとともに、余った電力を売却しています。

#### 焼却熱をのびやか健康館で利用

東工場で発生した熱を、隣接するスポーツ施設「のびやか健康館」の温水プール【写真】や空調の熱源として利用しています。



安定したごみ処理体制を維持し、将来的に大規模災害時にも処理能力を確保するよう、ごみの減量や資源になるものの再利用(リサイクル)の徹底により清掃工場へのごみ搬入量の削減が必要です。市では、令和12年度末までに約3.3万tのごみ削減をめざしています。皆様のご協力をお願いいたします。

## 気軽に楽しく生ごみを減量・堆肥化

### 「生きごみさん」講習会

ごみの減量・堆肥(たいひ)化が手軽にできる「生きごみさん」の作り方を学び、家庭菜園に利用しませんか。

希望する未経験者の方には「生きごみさん」に必要な資材をお渡しします。

日時 8月27日(金) 14～15時30分

場所 堺市都市緑化センター(堺区東上野芝町1丁4-3)

「生きごみさん」講師 辻 邦造さん

対象 市内在住の方 費用 無料 先着 15人

申込 はがきかFAX、電子メールで住所、氏名、電話番号、講習会日を、8月17日(必着)までに資源循環推進課(〒590-0078 堺区南瓦町3-1 ☎228-7479 FAX228-7063 〆 shijyun@city.sakai.lg.jp)へ。



ごみを減らすために何かできないかと考えていたところ、広報さかいで知った講習会に参加して以来7年間生きごみさんを続けています。生きごみさんの良いところは生ごみの減量と同時に堆肥ができることです。我が家では、生きごみさんで作った安心・安全な堆肥を使い、野菜や花が元気に育っています。今では講師として参加し、自分自身も参加者からの話を聞き、成長させてもらっています。ぜひ皆さんも参加しませんか。

●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントは中止・延期となる場合があります。詳しくは市☎へ

